



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2019年2月1日 No.57

2019春闘 スタート! 労使フォーラム開催

START

1月28日、経団連に加盟する主要企業の労使が意見を交わす「労使フォーラム」が開催され、2019春闘が本格的にスタートしました。

経団連はベースアップ(ベア)を選択肢の一つと位置付け ボーナスや手当を含む「年収ベース」での賃上げを提案

経団連・中西会長⇒「多様な方法による年収ベースの賃金引上げや総合的な処遇改善を検討していただきたい」と会員企業に呼びかけ

連合はベアの2%と定期昇給分の2%を合わせ 計4%程度の賃上げを要求

連合・神津会長⇒「一時金も大事だが、中小企業には一時金がないところや、あっても大企業と水準が全然違う」「月例賃金にこだわっていく」と強調

米中貿易摩擦で企業が先行きへの不安を強める中、政府は今回、企業に賃上げを求める「官製春闘」の動きを弱め、安倍首相は具体的な賃上げ率に触れず「賃上げをお願いしたい」と述べるにとどめています。

経団連の中西会長は、賃上げには前向きではあるものの、昨年と同様に「年収ベース」の賃上げを提案しており「月例賃金」の引き上げにこだわる連合との対決姿勢を見せています。

今後は2月5日に経団連会長と連合会長のトップ会談が開催され、交渉が本格化します。

2019春闘総決起集会に結集しよう!

今2019春闘は官製春闘の動きが弱まり、各労働組合の団結力を背景とした労使交渉が重要となります。

賃金引上げを勝ちとるために、2月24日開催の「2019春闘総決起集会」に自らが参加して東日本ユニオンの全組合で闘いをつくりだし、職場からもJR労働者の力を結集させ、今春闘を闘いぬこう!